

# 数学B

科目名	数学B	学年	2・3年次	単位数	2
教科書	高校数学B 新訂版（実教出版）	副教材	なし		
目標	数列、ベクトルまたは確率分布と統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。				

【 評価の観点 】 ※テスト点、提出物、授業の様子などを総合的に判断し評価を行います。

関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
数列、ベクトルまたは確率分布と統計的な推測に関心を持つとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数列、ベクトルまたは確率分布と統計的な推測における数学的な見方や考え方を見つけている。	数列、ベクトルまたは確率分布と統計的な推測において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技術を身に付けている。	数列、ベクトルまたは確率分布と統計的な推測における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

## 【 学習内容 】

章	節	内容	時数
第1章 数列	第1節 数列とその和	数列の意味について理解し、その規則性から一般項として表すことができる。また、数列の和を求める公式の有用性を理解し、その公式を用いることができる。数列を漸化式で表す利点を理解し、帰納的に表すことができる。	7
	第2節 いろいろな数列		10
	第3節 漸化式と数学的帰納法		8
第2章 ベクトル	第1節 平面上のベクトル	向きと大きさを持つ量をベクトルとして定義し、平面上のベクトルの性質や有用性を理解しその和や差を求めることができる。また、ベクトルを座標や成分で表す方法を学び、図形をベクトルで表すことができる。また、空間におけるベクトルについて学び、発展的な考察に活用することができる。	8
	第2節 ベクトルの成分と内積		10
	第3節 位置ベクトルと図形		5
	第4節 空間におけるベクトル		4
第3章 確率変数と統計的な推測	第1節 確率変数	確率を図や表に合やすことの有用性を理解し、期待値や分散、標準偏差を求めることができる。二項分布と正規分布の関係を学び、身近な事象の分析に活用することができる。また、統計の考え方から推測をすることができる。	6
	第2節 正規分布		6
	第3節 統計的な推測		6